

会議要旨

会議名	第23回自治基本条例策定委員会	作成日	平成20年1月21日
開催日	平成20年1月17日	場所	本庁舎203会議室
出席者	策定委員10名、コンサルタント1名、事務局3名		

1 前回委員会における修正箇所の確認と検討（資料1）

◇前回委員会における修正箇所（赤字部分）についての確認と検討を行った。

【意見交換内容】

①前文

◇「見る目を養い」とか「手を取り合って」という表現は、目の見えない人や、手が無いなどの障害を抱えている人にとって差別に当たらないか。（中にはこういうことを気にする人もいる）

→特に問題ないのではないかな。

◇第4段落目について、読点で文章が連続してつながっており、「（自然の恵みに感謝し・・・誇りを持って）」という部分）くどい印象がある。例えばだが、「子どもたちを健やかに育てるとともに」などとしてはどうか。

◇「田園定住都市」という表現が削られたが、これは最終的な町の姿だと考えており、削除するとおいらせ町がどういう町を目指すのかが見えてこない。前文の内容は、町民としてどう努力すべきかは分かるのだが、まちの憲法であるならば、まちとしての理想が入っていてもいいのではないかな。それと、第1段落目に「産業を発展させながら暮らしてきた」という表現があるが、今後どうなるのかという視点が必要ではないかな。歴史や伝統や産業を守り伝えるというだけでは、発展性がないのではと感じる。

→前文自体が「どういうまちを目標にしているか」という視点で作られていて、それを受けて、条例本文では「どういった手段をとっていくか」という構成になっているので、理想が入っていてもいいのではないかな。

→自治基本条例は、自治のルール、行政手続きのルールを定めるもので、私達町民の行動がどうあるべきかという取り決めである。敢えて理想まで盛り込まなくても良いと思う。

→前文の内容は、自然環境を守ることにしても、働く喜びを見つけることにしても、町民が心に留めて努力していかないと守り伝えていくことはできないのではないかな。インパクトのあるもの(理想の姿・目玉)はないかもしれないが、内容的には十分であると考えている。ただ、田園という言葉は個人的には好きなので残してもいいと思う。

→「田園定住都市」は新町建設計画のキャッチフレーズのようなもの。自治基本条例の中に無理に盛り込まなくても良いのでは。

◇町民としてどういった努力をするかという視点と、どういった町をつくりたいかという視点を区別した組み立てにしてはどうか。

→現時点で文案を組み立て直すのは時間的に無理がある。

②第4条

◇第3号の解説について、町は手をさしのべようという表現があるが、これについての補足として青字で注意書きを付してみた。手をさしのべるという意味は、お金だけではなく、隣近所で声がけを行うなどの意味も含まれている。この部分について委員の意見を伺いたい。（コンサルより）

→注意書きについても解説文に加えた方がより分かりやすい。

【結論】

条文については修正なし。

第4条第3号の解説文を修正する。

次回委員会時に解説文を含めた素案の最終チェックを行うこととする。

2 パブリックコメントについて（資料2）

昨年12月3日～17日にかけて実施したパブリックコメントに対する策定委員会の見解について検討を行った。

3 議員全員協議会について

今月18日に臨時議会が開会し、全員協議会が開催される予定であるが、席上、素案の内容（12月7日時点）と、これまでの活動状況、パブリックコメント、住民懇談会における意見の概要を報告予定である。

4 広報2月号について

パブリックコメントについての結果を記事として掲載予定であり、資料2と同様に修正を加えることとする。

5 まちづくり研究会について

【日時】2月15日（金） 18：30～

◇コミュニティ活動事例発表（2町内会予定）と、自治基本条例と住民自治組織に関する講演が予定されている。

◇条例素案を参考資料として配布し、講演後に行われる意見交換の際に、自治基本条例についても、参加者から意見をいただく機会を設けることとしたい。

6 その他

◇次回委員会の日程及び町長への素案最終版の報告日程について協議。

◇次回委員会は1月24日（木） 19：00から。（素案の最終確認と全員協議会での内容の報告とする。）

◇町長への報告は、1月29日（火）で時間調整を行う。

